

広島県の地震

2024（令和6）年10月

目次

広島県及びその周辺の地震活動…………… 1

震央分布図・断面図と地震概況

広島県における震度1以上の地震…………… 2

震度一覧表と震度分布図

地震メモ 第240回…………… 6

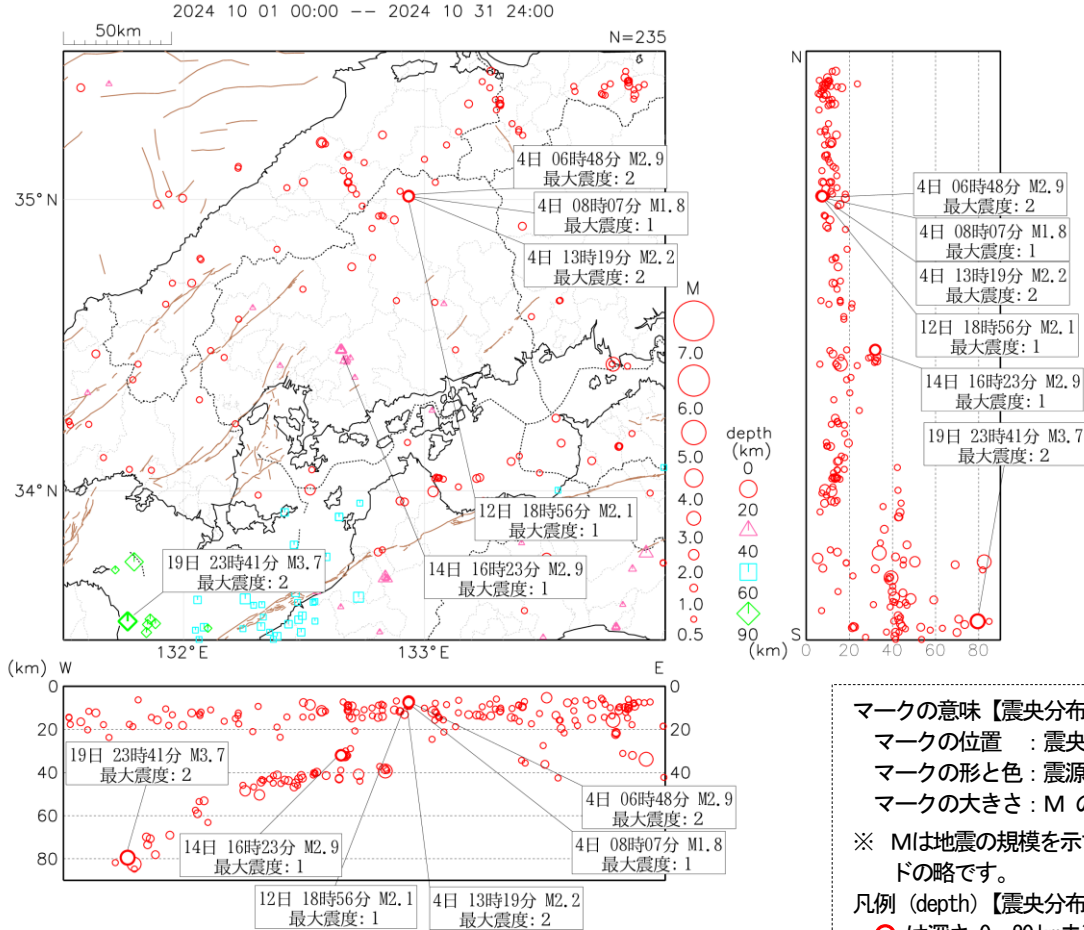
昭和東南海地震から80年

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2024 年 10 月 1 日～10 月 31 日



マークの意味【震央分布図・断面図】

マークの位置 : 震央

マークの形と色 : 震源の深さ

マークの大きさ : M の大きさ

※ Mは地震の規模を示すマグニチュードの略です。

凡例 (depth)【震央分布図】

○ は深さ 0～20 km未満

△ は深さ 20～40 km未満

□ は深さ 40～60 km未満

◇ は深さ 60～90 km未満

左上：震央分布図 右上：南北断面図 左下：東西断面図

※ 震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。

※ 図中の茶線は地震調査研究推進本部 による活断層を表しています。

※ 図の右上の” N ” は図の範囲内における地震の回数です。

【地震概況】

この期間、広島県内で震度 1 以上を観測した地震は 6 回でした（先月は 5 回）。

4 日 06 時 48 分 広島県北部の地震（深さ 7km、M2.9）により、広島県庄原市で震度 2 を観測したほか、島根県、広島県で震度 1 を観測しました。

4 日 08 時 07 分 広島県北部の地震（深さ 7km、M1.8）により、広島県庄原市で震度 1 を観測しました。

4 日 13 時 19 分 広島県北部の地震（深さ 7km、M2.2）により、広島県庄原市で震度 2 を観測しました。

12 日 18 時 56 分 広島県北部の地震（深さ 7km、M2.1）により、広島県庄原市で震度 1 を観測しました。

14 日 16 時 23 分 広島県南西部の地震（深さ 32km、M2.9）により、広島県安芸高田市・広島市東区・広島市西区・広島市安佐北区・広島市安芸区・東広島市・海田町・熊野町・坂町で震度 1 を観測しました。

19 日 23 時 41 分 伊予灘の地震（深さ 79km、M3.7）により、大分県国東市で震度 2 を観測したほか、広島県、愛媛県、高知県、山口県、大分県で震度 1 を観測しました。

広島県における震度 1 以上の地震

【震度一覧表】

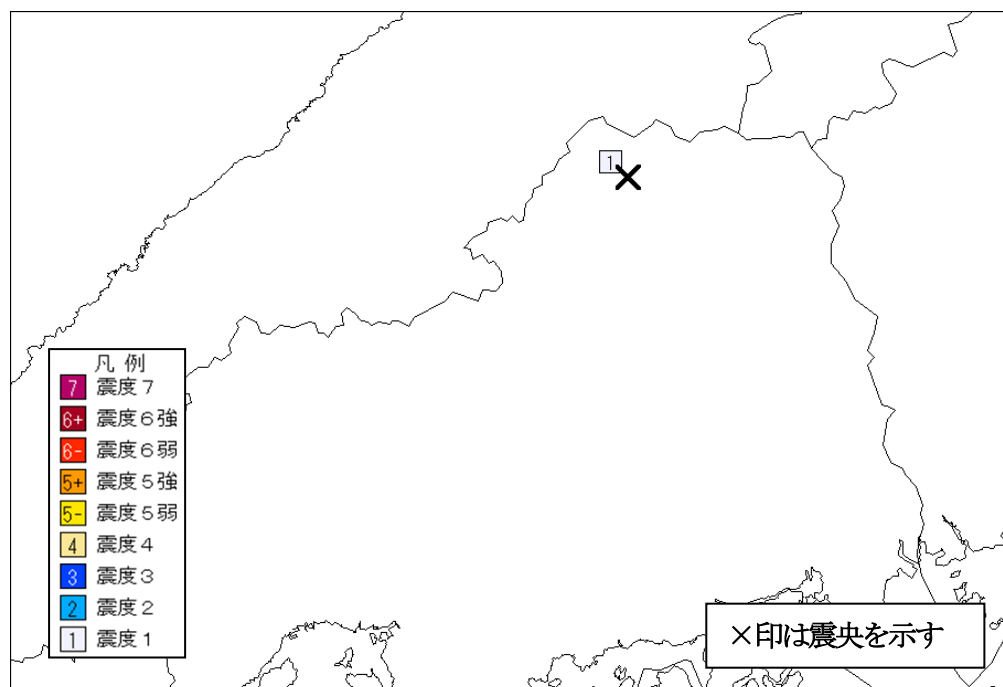
発震時刻（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	M
広島県内の各地の震度					マグニチュード
2024年10月04日06時48分	広島県北部	35° 00.7' N	132° 56.0' E	7km	M2.9
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 2：庄原市高野町＊					
震度 1：庄原市比和町＊					
2024年10月04日08時07分	広島県北部	35° 00.6' N	132° 56.0' E	7km	M1.8
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 1：庄原市高野町＊					
2024年10月04日13時19分	広島県北部	35° 00.7' N	132° 56.0' E	7km	M2.2
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 2：庄原市高野町＊					
2024年10月12日18時56分	広島県北部	35° 00.6' N	132° 56.0' E	7km	M2.1
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 1：庄原市高野町＊					
2024年10月14日16時23分	広島県南西部	34° 29.1' N	132° 39.2' E	32km	M2.9
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 1：安芸高田市向原町長田＊, 安芸高田市甲田町＊, 広島東区福田＊, 広島西区己斐＊					
広島安佐北区可部南＊, 広島安芸区中野＊, 東広島市豊栄町＊, 海田町役場＊					
熊野町役場＊, 坂町役場＊					
2024年10月19日23時41分	伊予灘	33° 32.8' N	131° 46.0' E	79km	M3.7
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 1：広島西区己斐＊					

注) 震度の地名に＊印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

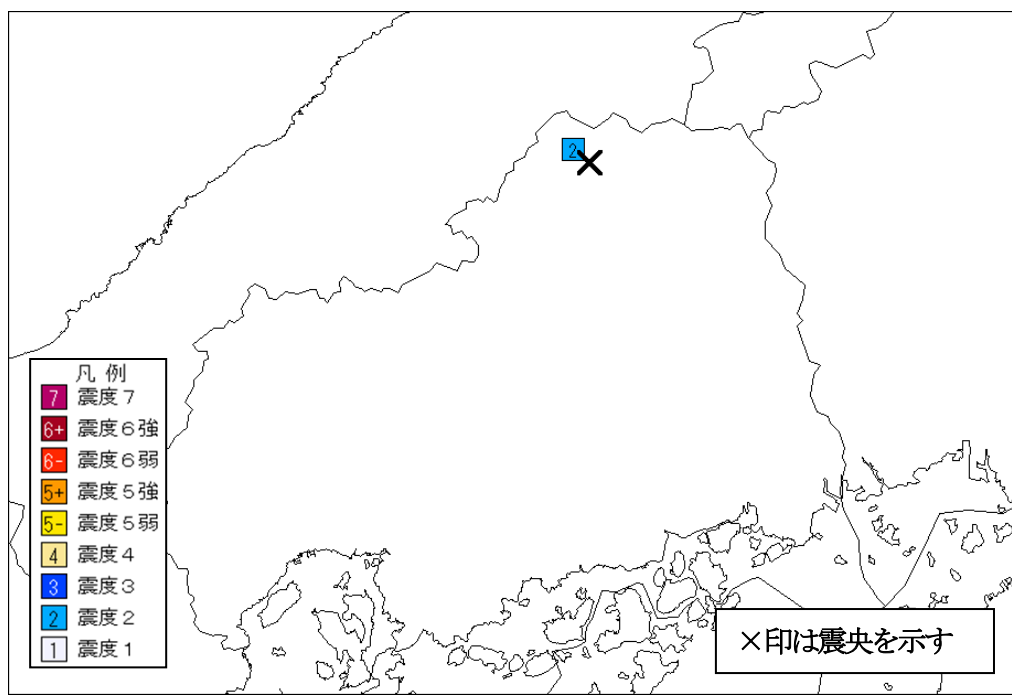
【震度分布図】



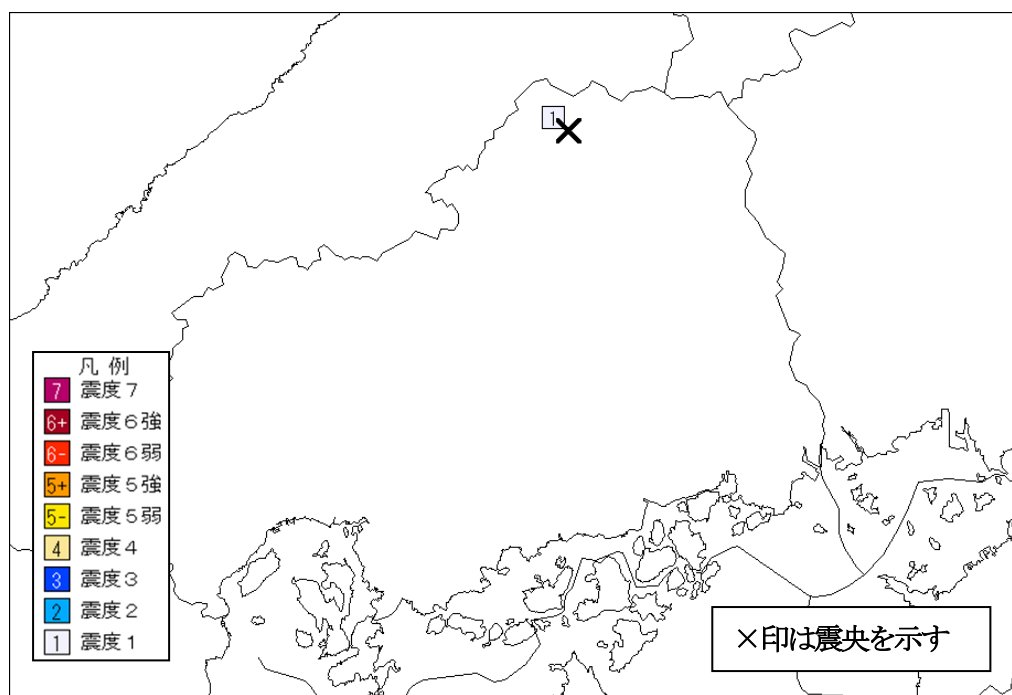
2024 年 10 月 4 日 06 時 48 分 広島県北部の地震の観測点震度分布図



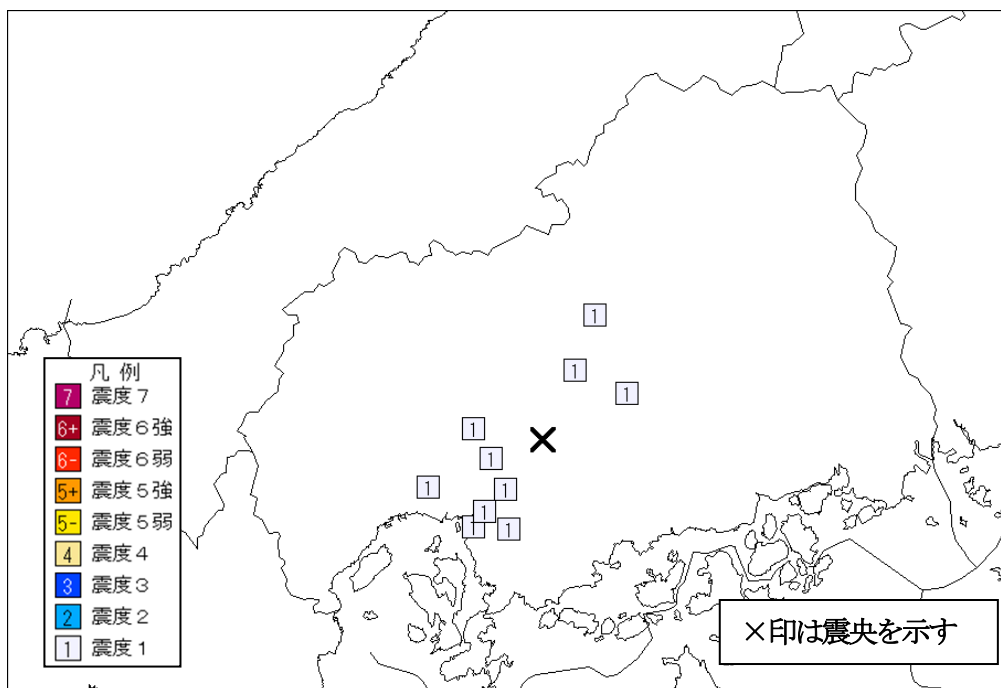
2024 年 10 月 4 日 08 時 07 分 広島県北部の地震の観測点震度分布図



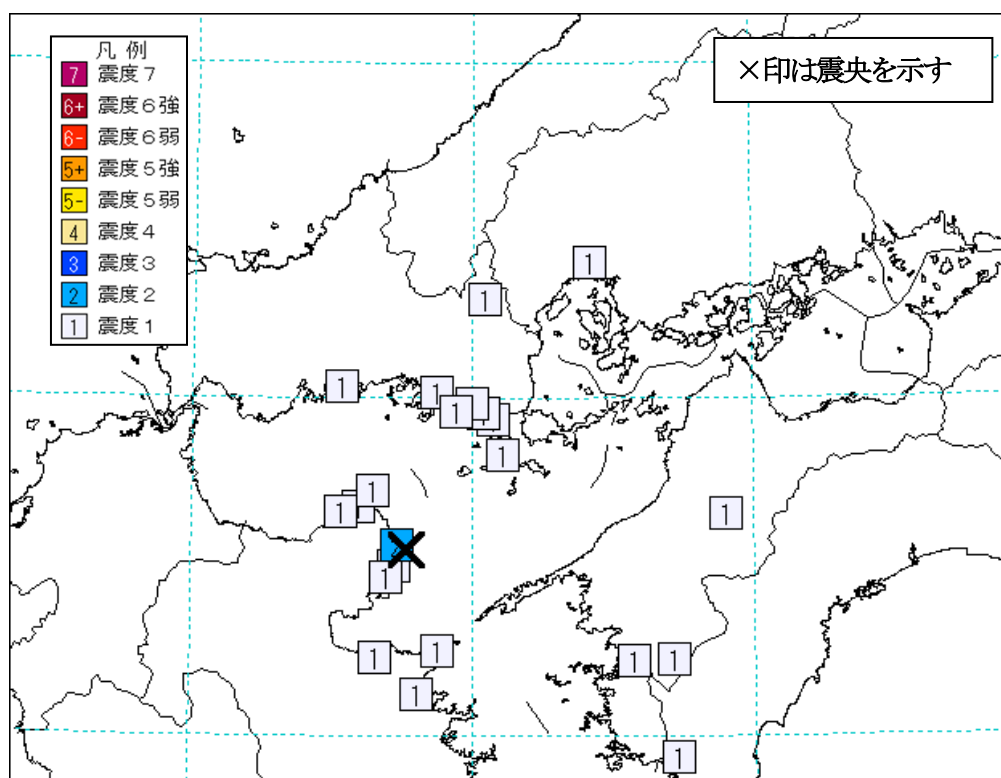
2024 年 10 月 04 日 13 時 19 分 広島県北部の地震の観測点震度分布図



2024 年 10 月 12 日 18 時 56 分 広島県北部の地震の観測点震度分布図



2024 年 10 月 14 日 16 時 23 分 広島県南西部の地震の観測点震度分布図

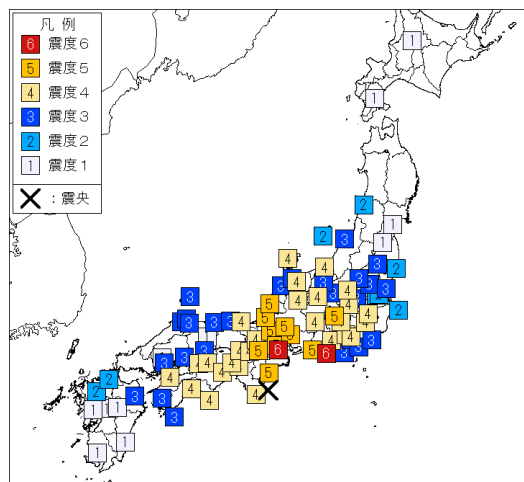


2024 年 10 月 19 日 23 時 41 分 伊予灘の地震の観測点震度分布図

1944 年 12 月 7 日 13 時 35 分、三重県南東沖の南海トラフを震源とするマグニチュード 7.9 のプレート境界型地震（以下「昭和東南海地震」という。）が発生しました。

静岡県、三重県で震度 6（当時の震度階級の最大）を観測し、北海道から九州地方の広い範囲で震度 5～1 を観測しました。さらに、この地震により津波が伊豆半島から三重県沿岸までを襲い、高さは三重県の沿岸で大きく 6～9 m に達し、尾鷲では 9 m に及びました。

この地震は戦争中に発生したため被害の詳細は文献により著しく異なりますが、死者数は 1,230 人、全壊家屋は 26,130 棟など、静岡、愛知、岐阜、三重の各県を中心に大きな被害が発生しました。



1944 年 12 月 7 日 13 時 35 分に発生した
三重県南東沖の地震の震度分布

また、南海トラフではマグニチュード 8 クラスの地震が隣接する領域で時間差をおいて発生することがあり、この地震の約 2 年後、1946 年 12 月 21 日には和歌山県南方沖の南海トラフを震源としたマグニチュード 8.0 のプレート境界型地震（以下、「昭和南海地震」という。）が発生しました。

南海トラフでは、概ね 100～150 年間隔で繰り返しプレート境界型の大地震（いわゆる、南海トラフ地震）が発生しています。前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震及び昭和南海地震）が発生してから約 80 年が経過し、次の南海トラフ地震の発生が迫っています。自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備をしておきましょう。

○南海トラフ地震を知るためのリーフレット

- ・南海トラフ地震 -その時の備え-

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

- ・マンガで解説 南海トラフ地震その日が来たら（西側編）

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html



※津波の高さ、被害は内閣府「災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 平成 19 年 3 月」による。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先

〒730 - 0012

広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階
広島地方気象台 防災管理官室 TEL：082 - 223 - 3965